

平成28年能勢町議会11月会議報告

11月会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議案第56号 副町長の選任につき同意を求めることについて

賛 否

東良 勝氏

同 意

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 木戸俊治 | 福中 満 | 中植昭彦 | 大平喜代江 | 山本光晴 | 西河 巧 | 大西則宏 | 長尾義信 | 中西顕治 | 原田健志 | 美谷芳昭 | 長尾義和 |
| ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 |

以下の案件は、全員賛成により同意されました。

議案第57号 教育長の任命につき同意を求めることについて

加堂 恵二氏

議案第58号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

辻 経雄氏

議案第59号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

市村 依子氏

注：議長は、採決に加わりません。

環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

12月16日、環境教育常任委員会を開催し、能勢小学校及び能勢中学校の現状と課題について、教育環境・通学時の安全面を中心に調査しました。
主な質疑応答は次のとおりです。

問 給食担当職員の控室について、今後どのように対応するのか。

答 給食担当職員の控室について、狭いのではないかと指摘があった。対応としては、廊下の一部をパーテーションで仕切る、外に別の部屋を作る、既存の部屋を使用する等が考えられる。この中で、既存の部屋を活用する方法が有力ではないかと考えている。

問 長期休職教員について、根本的な原因はどこにあるのか。どのように対処するのか。

答 授業については、代替の講師で行っている。長期休職の原因として、様々な課題に対応する精神的疲労が考えられる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門的な相談を行い、教育委員会としてサポートする。また、関係諸機関との連携も必要であると考えている。

問 国道とバイパスの合流部分の直進・右折車線は一車線であるが、バスが右折のため滞留した場合に児童生徒が国道を横断する際の安全対策上から、複線化が必要ではないか。安全面の重要な課題として認識してもらいたい。

答 関係部署との協議・交通量調査等から、一車線で施工した。国道横断時の交通安全指導を徹底し、児童生徒の安全確保に努めていく。

問 不登校が増加傾向である。社会的な要因もあるが、原因を学校側が認識していないケースがあり、児童生徒と教員との認識にかなりの差がある。どのように考えているのか。

答 不登校の児童生徒については、定期的なケース会議を開催し、スクールソーシャルワーカーや教員が家庭訪問をしている。また、登校していても不登校の前兆を感じた場合には、個別にスクールカウンセラーも交えて対応している。児童生徒と教員との認識に差があるとの指摘については、教員が児童生徒の生活、性格、思いに寄り添うことで解決できると考えている。児童生徒から信頼される教員になれるよう、教育委員会としても指導・助言をしていく。

問 アフタースクールの状況はどうか。教育現場とアフタースクールが連携することによって、制度導入の目的が実現されると考える。

また、アフタースクールに対応したスクールバスの運行計画があってもよいのではないか。

答 自然学習、自然工作、野外ゲーム、サッカー、合唱、料理教室、大学生によるアフタースクールを実施している。制度導入の目的のひとつに、家庭学習の時間が短い実情をふまえ、学習習慣をつけることがある。教育現場との連携が理想だが、そこまで至っていない現状である。今後、連携を進めていきたい。

アフタースクールに対応したスクールバスの運行については、学力向上の再構築も合わせて、総合的に検討すべき課題であると認識している。